NEC

Aterm® WL11C / WL11U

PC-WL/11C　PC-WL/11U

無線カード／USB無線アダプタ
取扱説明書

はじめに

このたびは、『Aterm WL11C（無線カード）』または『Aterm WL11U（USB無線アダプタ）』をお買い上げいただきありがとうございます。

『Aterm WL11C（無線カード）』または『Aterm WL11U（USB無線アダプタ）』（以下WARPSTARサテライトと称します）は、NTT東日本・NTT西日本のISDN網「INSネット64」にパソコンや電話機、ファクス、モデムなどを接続するためのターミナルアダプタ『Aterm WL50T』またはAtermのTAシリーズに「アドオン環境」を実現する『Aterm WL30A』（以下 WARPSTARベースと称します）とセットで使用します。

WARPSTARサテライトはワイヤレス通信機能を搭載していますので、WARPSTARベースをワイヤレス親機、WARPSTARサテライトをワイヤレス子機として親機と離れたところから通信できます。

本書ではWARPSTARサテライトの接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法など、WARPSTARサテライトを使いこなすために必要な事項を説明しています。WARPSTARサテライトをご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■ワイヤレス機器の使用上の注意

- 本装置は、2.4GHz帯域の電波を使用しています。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  （1）本装置を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  （2）万一、本装置と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本装置の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
  （3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Aterm（エーターム）インフォメーションセンターにお問い合わせください。
- 本装置は、2.4GHz全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式を採用しており、与干渉距離は40mです。

2.4	:2.4GHz帯を使用する無線設備を示す
DS	:変調方式を示す
4	:想定される干渉距離が40m以下であること
■■■	:全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

Windows, Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

安全に正しくお使いいただくために

安全に正しくお使いいただくための表示について

本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。

⚠ 危　険　：**人が死亡する、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。**

⚠ 警　告　：**人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠ 注　意　：**人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

STOP お願い　：**本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。**

■　**絵表示の例**

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警　告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。漏電して、火災・感電の原因となります。

⚠ 警　告

こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに接続コード類や本体の接続を取り外してください。煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● **水が装置内部に入った場合**
万一、内部に水などが入った場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異物が装置内部に入った場合**
本装置の内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **破損した場合**
万一、落としたり破損した場合は、すぐに接続コード類や本体の接続を取り外して、ご購入店またはNEC保守サービス受付拠点に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

禁止事項

- **本装置は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

- **分解・改造の禁止**
  本装置を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- **ぬらすことの禁止**
  本装置に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。

- **ぬれた手での操作禁止**
  ぬれた手で本装置を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

- **使用禁止区域での注意**
  航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本装置の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- **ペースメーカを装着されている方の注意**
  植え込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本装置をペースメーカ装着部から22cm以上離して使用してください。電波により影響を受ける恐れがあります。

- **異物を入れないための注意**
  本装置の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

設置場所

- **火気のそばへの設置禁止**
  本装置や接続コード類を熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- **湿度の高い場所への設置禁止**
  直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

- **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
  調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- **不安定な場所への設置禁止**
  ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- **横置き・重ね置きの禁止**
  本装置を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本装置の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

⚠ 注　意

禁止事項

● **乗ることの禁止**

本装置に乗らないでください。特に、小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

その他のご注意

● **雷のときの注意**

雷が鳴りだしたら、接続コード類に触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **取扱説明書に従って接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

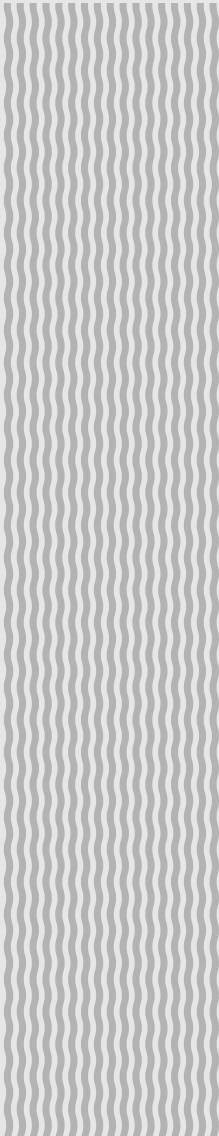
設置場所

- **本装置を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
  - ・ほこりや振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場合
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- **本装置をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**
- **ワイヤレス親機とワイヤレス子機間で電波の届く範囲は見通しで約100mです。周囲の電波状況や壁の構造（鉄筋壁、防音壁、断熱壁）などにより、距離が短くなります。**
- **本装置とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したりデータ通信が切れる場合があります。またコードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発進着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**

禁止事項

- **動作中に接続コード類がはずれたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。**

日ごろのお手入れ

- **汚れたら、乾いた柔らかい布でふきとってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふきとってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。**

1 最初に確認しましょう

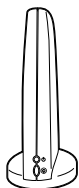
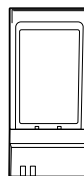
WARPSTAR サテライトを設置、接続する前に必ず確認しておきましょう。

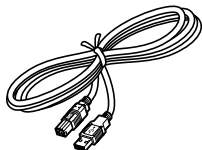
Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

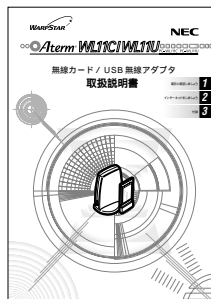
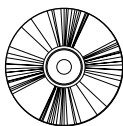
1-1 添付品を確認する

設置を始める前に、添付品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●添付品

① WARPSTAR サテライト（WL11U または WL11C）

WL11U

WL11C

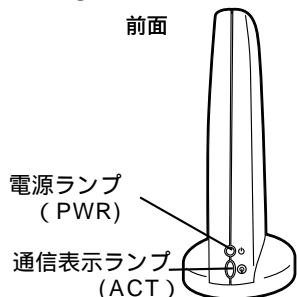
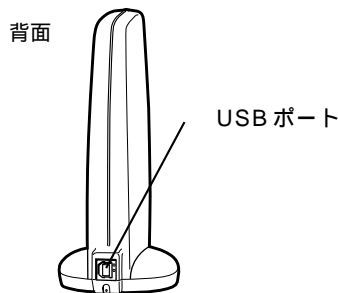
② USB ケーブル

WL11U に 1 本セットされています。
WL11C には添付されていません。

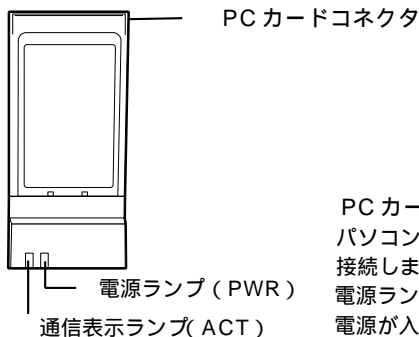
③取扱説明書（本書）

④CD-ROM「AtermWARPSTAR ユーティリティ集」

⑤WARPSTAR サテライト WL11U 保証書または WL11C 保証書
（お買い上げの機種により、どちらかが添付されています。）

⑥無線注意シール

1-2 各部の名前とはたらき

WARPSTAR サテライト（WL11U ／ WL11C）

WL11U

①電源ランプ（PWR）
電源が入っているとき黄色で点灯します。（異常時は赤色で点灯します。）
②通信表示ランプ（ACT）
データ通信中に緑色で点灯します。（待機中は赤色で点灯します。）

③ USB ポート
添付の USB ケーブルを使って、パソコンの USB ポートに接続します。

WL11C

① PC カードコネクタ
パソコンの PC カードスロットに差し込み接続します。
②電源ランプ（PWR）
電源が入っているとき緑色で点灯します。
③通信表示ランプ（ACT）
データ通信中に緑で点灯します。

お願い

●PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。

2 インターネットをしましょう

インターネットやLANをご利用になる前に、この章をお読みになり、WARPSTARとパソコンを接続してください。最初にどのポートに接続するかを確認してください。接続するポートごとに、ドライバのインストールからLANの設定まで、パソコンを接続するときに必ず行わなければならない設定について説明しています。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

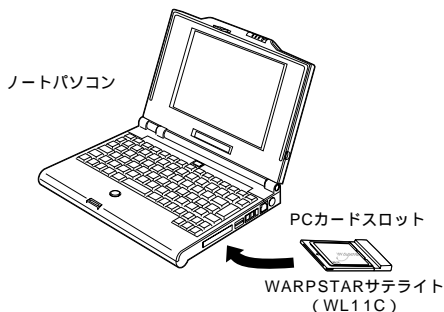
2-1 どのポートに接続するか確認する

お使いのパソコンに搭載されているポートの種類ごとに、接続のしかたを確認しましょう。ここでは確認するだけで、パソコンと WARPSTAR は接続しないでください。
※ポートの種類についてよくわからない方は、お使いのパソコンのポートと図をよく見比べて接続するポートを確認してください。

●接続ポートを確認する前に（WARPSTAR サテライトが対応している OS）
お使いのパソコンが WARPSTAR サテライトをご利用になれる環境になっているか確認してください。WARPSTAR サテライトは以下の OS でのみご利用になれます。
・Windows® Me
・Windows® 98
・Windows® 2000
対応の OS をご利用の場合でも、お使いのパソコンの環境によっては、必要なネットワークコンポーネント（NetBEUI、TCP/IP）がインストールされていない場合があります。必要なネットワークコンポーネントがインストールされているかどうかを確認し、インストールされていない場合に追加する方法については、添付 CD-ROM「データ通信ガイド」「1-2　ファイルとプリンタの共有」を参照してください。

お願い

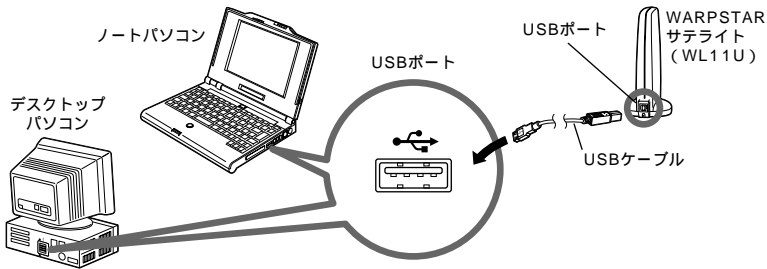
●Windows® Me/98 をご利用の場合、同じパソコンの 10BASE-T ポートと USB ポート、PC カードスロットに複数のネットワークデバイスを接続して同時に使用することはできません。
WARPSTAR サテライトを接続するポート以外のネットワークデバイスは、すべて機能を停止してください。

PC カードスロット

PC カードスロットがあるパソコンには、WARPSTAR サテライト（WL11C）を取り付けることができます。以下の順で設定を行ってください。
「2-2　パソコンを接続する」（☛P2-4）
⬇
「2-3　インターネットに接続する」（☛P2-13）

お願い

●WARPSTAR サテライト（WL11C）をパソコンに取り付けるためには、32 ビット PC カードドライバが正常にインストールされている必要があります。

●WARPSTAR サテライト（WL11C）はパソコンからの給電のみで動作しますが、サスペンド機能等により商品への給電が停止した場合、通信を行う前にカードを挿し直す必要がある場合があります。

USB ポート

お使いのパソコンに USB ポートがある場合は、WARPSTAR サテライト（WL11U）を添付品の USB ケーブルで接続することができます。以下の手順で設定を行ってください。

「2-2　パソコンを接続する」（☛P2-4）

⬇

「2-3　インターネットに接続する」（☛P2-13）

お願い

●WL11U はパソコンからの給電のみで動作しますが、スタンバイモードやサスペンドモードではご使用になれません。また、使用する USB ポートの給電能力が 500mA を保証しているパソコンまたは USB ハブをご使用ください。

●USB 接続でご使用いただく場合、ご使用になるパソコンによっては、スタンバイやサスペンド機能が使用できない場合があります。

2-2 パソコンを接続する

WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）にパソコンを接続するときは、①ドライバのインストール→②パソコンの接続→③ LAN の設定の順で設定を行っていきます。これらは、すべてらくらくアシスタントの［WARPSTAR 導入ウィザード］で行います。まず最初に、お使いのパソコンにらくらくアシスタントをインストールしてください。ここではまだパソコンと WARPSTAR サテライトを接続しないでください。

お願い

●Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと USB ポートが使用できません。必ず LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。（☛P2-10）

らくらくアシスタントをインストールする

ここではまだ、パソコンに WL11U を接続したり、カードスロットに WL11C を取り付けないでください。

1　Windows® Me/Windows® 98/Windows® 2000 を起動する

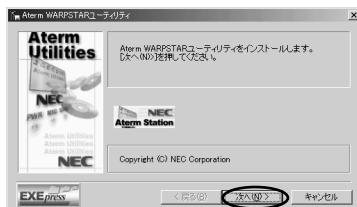
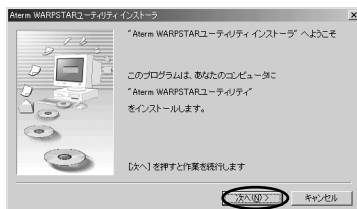
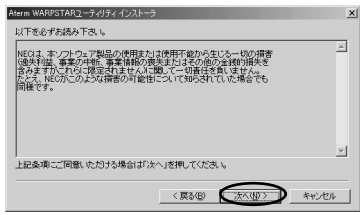
2　添付 CD-ROM「Aterm WARPSTAR ユーティリティ集」を CD-ROM ドライブにセットする

メインメニュー画面が表示されます。
メインメニューが表示されないときは（☛P2-6）

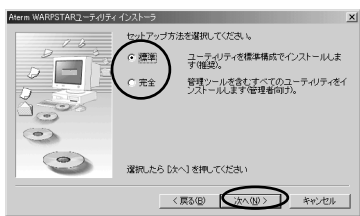
3　[欲しいものだけインストール] をクリックする

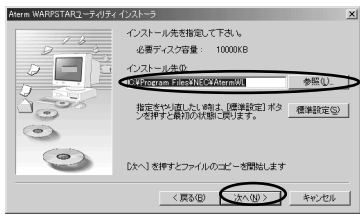
ユーティリティのメニュー画面が表示されます。

4　[WARPSTAR らくらくアシスタントのインストール] をクリックする

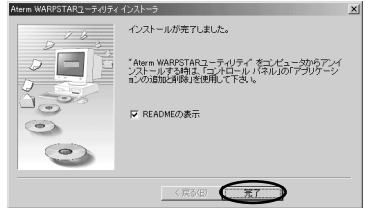
5　[次へ] をクリックする

6　[次へ] をクリックする

7 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする

8 セットアップ方法を選択して、［次へ］をクリックする

［標準］を選択すると、インターネットや LAN への接続に必要なユーティリティがインストールされます。

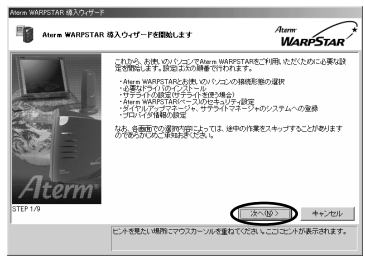
［完全］を選択すると、［標準］に加えて LAN 機能の詳細を設定するユーティリティであるベースマネージャもインストールされます。

9 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

10 指定したインストール先フォルダは存在しません。フォルダを作成しますか？ という画面が表示された場合、［はい］をクリックする

インストールが開始します。

11 ［README の表示］にチェックが入っていることを確認し、［完了］をクリックする

12 README をよく読んで、［README］画面を閉じる

インストールが完了し、WARPSTAR 導入ウィザードが起動します。

13 続けて WARPSTAR 導入ウィザードで LAN の設定を行う

? らくらくアシスタントを起動するには

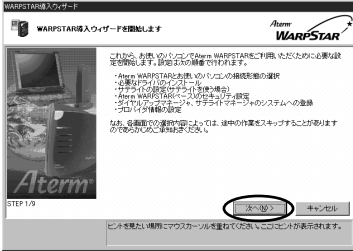
らくらくアシスタントを終了させた後に、再度らくらくアシスタントを起動するときは、［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］―［Aterm WARPSTAR ユーティリティ］―［Aterm WARPSTAR らくらくアシスタント］をクリックします。

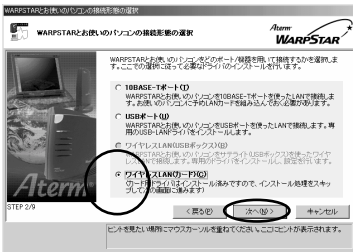
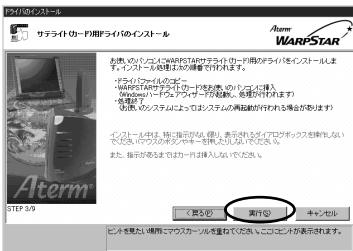
お知らせ

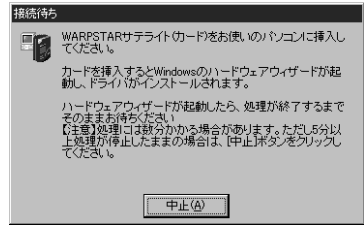
●添付 CD-ROM をセットしてもメインメニュー画面が表示されない場合は、以下の操作を行います。
①Windows® の［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と \ Menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
（例： CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q: \ Menu.exe）

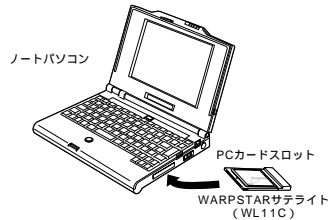
●WARPSTAR らくらくアシスタントをインストールすると、インターネット接続や WARPSTAR の設定に必要な以下のユーティリティが自動的にインストールされます。
・WARPSTAR らくらくアシスタント
・WARPSTAR ダイヤルアップマネージャ
・WARPSTAR サテライトマネージャ（サテライトのみ）
・WARPSTAR ベースマネージャ（完全）
WARPSTAR ベースマネージャは、あとからインストールすることもできます。
（☛ 添付 CD-ROM［データ通信ガイド］「1-1　LAN のデータ通信機能」）

WARPSTAR導入ウィザードで設定する（サテライト）

1 ［次へ］をクリックする

2 ［ワイヤレスLAN（USBボックス）］または［ワイヤレスLAN（カード）］のどちらかをチェックして、［次へ］をクリックする

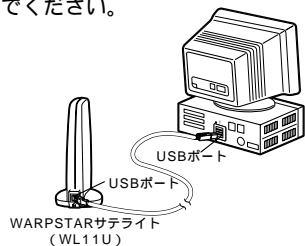
WL11Uをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（USBボックス）］、WL11Cをご利用の場合は［ワイヤレスLAN（カード）］をクリックしてください。

3 ［実行］をクリックする

4 次の接続待ち画面が表示されたら、WARPSTARサテライトをパソコンに接続（WL11U）、または取り付け（WL11C）する

●画面はWL11Cの場合です

●WL11Cを取り付ける

パソコンのカードスロットにWL11Cを取り付けます。コネクタの向きに注意して、しっかりと奥まで差し込んでください。

●WL11Uを接続する

WL11UのUSBポートとパソコンのUSBポートを添付のUSBケーブルで接続する

コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認してしっかり差し込んでください。

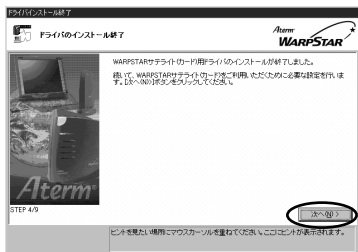
（次ページに続く）

5 **ドライバのインストールが行われる**

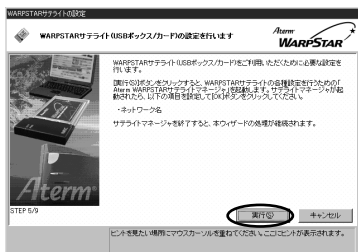
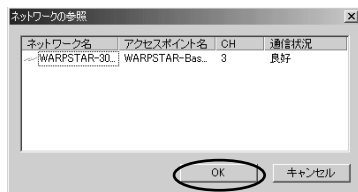
ドライバが自動的にインストールされます。

6 **画面の表示にしたがって、[再起動] をクリックする**

ドライバのインストールが終了します。

ご利用の OS によっては、再起動の必要がない場合があります。

7 **[次へ] をクリックする**

8 **WARPSTAR ベースの電源を入れたあと [実行] をクリックする**

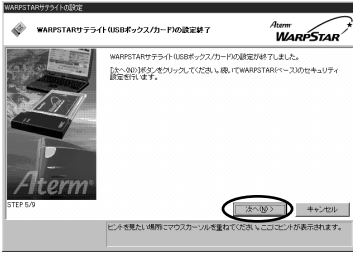
WARPSTAR ベースの電源を入れたあと、10 分以内にネットワークの参照をしてください。

9 **接続する WARPSTAR ベースのネットワーク名を選択して [OK] をクリックする**

お知らせ

●工場出荷時のネットワーク名は「WARPSTAR-XXXXXX」(XXXXXX は WARPSTAR ベース背面に記載している 10BASE-T の MAC アドレス下 6 桁です。)

10 **[OK] をクリックする**

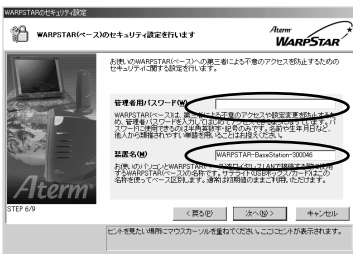
[通信モード] は [アクセスポイント通信] の設定のままにしてください。

サテライトマネージャの設定が終了します。

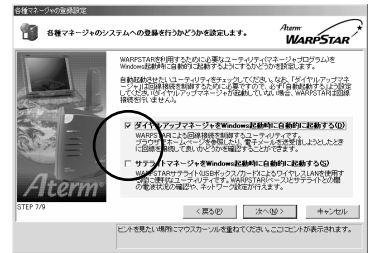
11 ［次へ］をクリックする

12 LAN の設定を入力する

①［管理者用パスワード］にWARPSTARベースの設定を変更するためのパスワードを入力します。パスワードには任意の英数字半角 20 文字まで入力できます。
管理者用パスワードは、WARPSTARベースをベースマネージャで設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワード

忘れた場合は、WARPSTARベースを工場出荷状態に戻して設定を消去してください。
②［装置名］には、WARPSTARベースの名称を入力します。通常は、お買い上げ時の設定のままでかまいません。

13 ［次へ］をクリックする

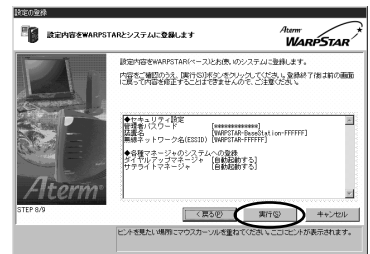
14 パソコンを起動したときに起動するユーティリティを設定する

［ダイヤルアップマネージャをWindows 起動時に自動的に起動する］がチェックされていることを確認します。
サテライトマネージャを自動的に起動するときは、［サテライトマネージャをWindows 起動時に自動的に起動する］をチェックします。

15 ［次へ］をクリックする

16 設定内容を確認し、［実行］をクリックする

LAN で通信するための設定が行われます。

（次ページに続く）

2

インターネットをしましょう

17 ［接続設定］をクリックする

LAN の設定が終了し、インターネット接続の設定になります。
らくらくアシスタントから WARPSTAR 導入ウィザードを起動した場合は、［設定終了］をクリックするとらくらくアシスタントメニュー画面に戻ります。

18 続けてインターネット接続の設定を行う

P2-15 の手順 4 に進みます。
らくらくアシスタントから WARPSTAR 導入ウィザードを起動した場合は、P2-14 の手順 3 に進みます。

 お知らせ

● 初めてらくらくアシスタントをインストールしたとき以外で WARPSTAR 導入ウィザードを起動するときは、らくらくアシスタントを起動し、メニュー画面で［WARPSTAR 導入ウィザード］をクリックしてください。

? LAN カード機能を停止させるには

Ethernet インタフェースを搭載したノートパソコンの場合、LAN カード機能を停止させないと USBLAN と WARPSTAR サテライトが使用できないことがあります。以下の操作で LAN カード機能を停止させてから、WARPSTAR 導入ウィザードの設定を行ってください。

〈Windows® Me/98 の場合〉

① ［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［デバイスマネージャ］タブをクリックする
④ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑤ 不要なネットワークアダプタを選択し、［プロパティ］ボタンをクリックする
⑥ ［全般］タブの［このハードウェアプロファイルで使用不可にする］をチェックして［OK］をクリックする

〈Windows® 2000 の場合〉

① ［スタート］ボタン―［設定］―［コントロールパネル］をクリックする
② ［システム］アイコンをダブルクリックする
③ ［ハードウェア］タブをクリックする
④ ［デバイスマネージャ］をクリックする
⑤ ［ネットワークアダプタ］をダブルクリックする
⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックする
⑦ ［無効］を選択する
⑧ ［はい］をクリックする

● WL11C の取り扱いについて

〈取り付けるとき〉

・WL11C のコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

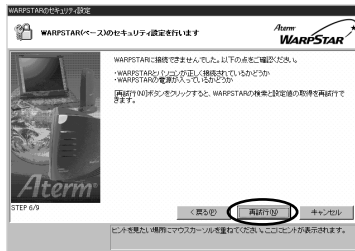
〈取り外すとき〉

・WL11C を取り外すときは、以下の操作で PC カードを取り外せる状態にしてから取り外してください。
　①タスクトレイの PC カードアイコンを左クリックする
　②［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の停止］をクリックする（Windows® 98 の場合は［Aterm WL11C（PC-WL/11C）の中止］をクリックする）
　③「‘Aterm WL11C（PC-WL/11C）’は安全に取り外すことができます。」（Windows® 98 の場合は「このデバイスは安全に取り外せます」）が表示されたら、［OK］をクリックする
　④WL11C を取り外す

お願い

●WL11C の取り付け位置はパソコンにより異なりますので、必ずパソコンの取扱説明書を参照し、各メーカーの定める手順にしたがって取り付けてください。
●らくらくアシスタントが起動しないなどの理由で、手動で WARPSTAR をセットアップする場合は、添付 CD-ROM「データ通信ガイド」「4　ドライバの手動インストール」を参照してください。

? こんなときは

次の画面が表示された場合は、①～⑥を確認して［再試行］をクリックしてください。

● Windows® Me/98 の場合
　①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする。
　②“winipcfg”を入力して［OK］をクリックする。
　③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドの ▼ をクリックして“WL11U（PC-WL/11U）”を選択する。
　④［すべて書き換え］をクリックする。
　⑤ IP アドレスが“192.168.0.XXX”になることを確認する。
　⑥［OK］をクリックする。
　＊ 手順③は WARPSTAR サテライト（WL11U）の場合です。
　　 WARPSTAR サテライト（WL11C）のときは“WL11C（PC-WL/11C）”を選択してください。

2　インターネットをしましょう

WARPSTARベースとの通信状態を確認する (サテライトマネージャ)

サテライトマネージャを起動すると、WARPSTARベースとWARPSTARサテライトの通信状態を確認することができます。

1 タスクトレイのサテライトマネージャのアイコンを右クリックする

2 [状態] をクリックする

WARPSTARベースとWARPSTARサテライトの通信状態が表示されます。

3 通信状態を確認したら、[閉じる]をクリックする

お知らせ

- WARPSTARは、無線データ通信を行ううえで必要なセキュリティ機能としてWEPとMACアドレスセキュリティを搭載しています。各設定方法の詳細については、添付CD-ROM「データ通信ガイド」を参照してください。

・WEPとは

WEP（Wired Equivalent Privacy）は、ユーザが指定した任意の文字列（キー）からデータの暗号化を行う機能です。これにより、WARPSTARベースとサテライトとの間で送受信される無線通信データを保護することができます。

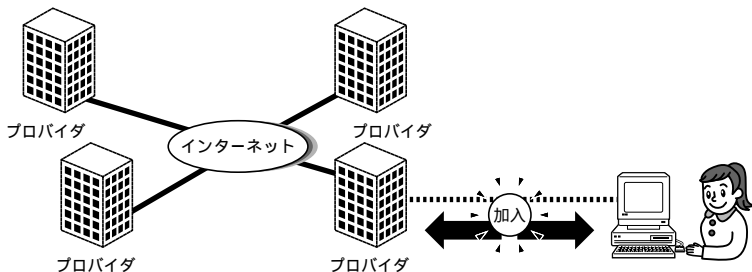
・MACアドレスセキュリティ機能とは

お使いのWARPSTARが登録されたサテライトとのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、他のサテライトからLANやインターネットへ接続するのを防ぐことができます。

2-3 インターネットに接続する

インターネットへの接続は、付属ユーティリティの「ダイヤルアップマネージャ」を使って行います。ダイヤルアップマネージャの設定は、らくらくアシスタントの案内で簡単に行うことができます。

インターネットの設定を行う前に

インターネットを利用するには、インターネットプロバイダ（以降プロバイダ）への入会が必要です。プロバイダは、家庭などのパソコンからインターネットに接続するための通り道を提供してくれます。

□ BIGLOBEのご案内

プロバイダへの入会はお済みですか？　まだ入会されていない場合は、ご契約後にインターネット接続の設定を行ってください。
BIGLOBEは国内屈指の規模を誇る、総合型インターネットプロバイダです。接続メニューの豊富さ、新技術への対応、会員サポートの充実など、あらゆる面で高水準のサービスを提供しています。

BIGLOBEのトップページ（画面は平成12年11月9日現在のものです）
URL ： http://www.biglobe.ne.jp/

BIGLOBEへは、らくらくアシスタントからオンラインサインアップで入会することができます。

 お知らせ

●「オンラインサインアップ」とは、プロバイダへの加入手続きをオンライン（通信中に）で行うものです。画面の指示にしたがって名前その他の必要情報を入力します。

インターネット接続を設定する

お願い

● LAN で接続したパソコンから非同期のアクセスポイントにインターネット接続することはできません。非同期のアクセスポイントをご利用になるときは、WARPSTAR ベースの TA モードで接続してください。(☛ 添付 CD-ROM「データ通信ガイド」)

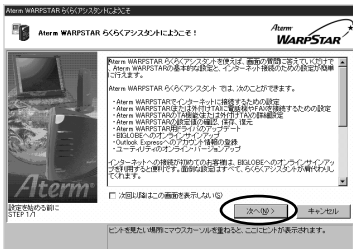
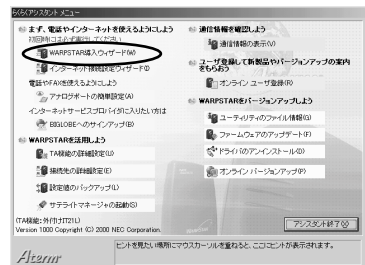
●らくらくアシスタントのメニュー画面で何かボタンを押したとき、次の画面が表示された場合は、①〜③を確認した後［再試行］をクリックしてください。

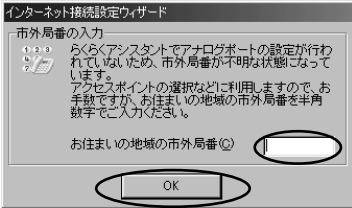
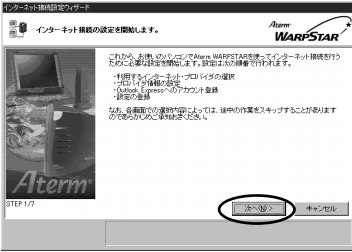
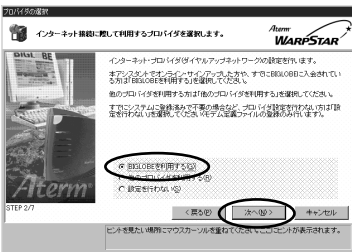
①パソコンと WARPSTAR サテライト（WL11U）／（WL11C）または WARPSTAR ベースは正しく接続されていますか？
② WARPSTAR ベースの電源は入っていますか？
③起動中のアプリケーションは、終了させてください。

1 らくらくアシスタントを起動する（☛P2-6）

WARPSTAR 導入ウィザードから続けて行なう場合は、手順 4 から行なってください。

2 ［次へ］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面が表示されます。

3 ［インターネット接続設定ウィザード］をクリックする

4 市外局番を入力し、［OK］をクリックする

すでに市外局番の設定を行っている場合は、この操作は不要です。

5 ［次へ］をクリックする

6 BIGLOBE を利用する場合は、［BIGLOBE を利用する］を、その他のプロバイダを利用する場合は［他のプロバイダを利用する］を選択し、［次へ］をクリックする

7 プロバイダ接続をするための情報を入力して、［次へ］をクリックする

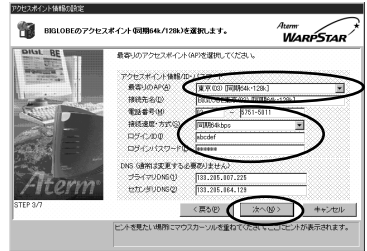
●BIGLOBE の場合

①所在地情報に基づいて最寄りのアクセスポイントが表示されます。他のアクセスポイントに変えるときは、［最寄りの AP］をプルダウンして選択します。

②[接続速度・方式］は通常、［同期 64kbps］を選択します。
非同期のアクセスポイントは設定できません。

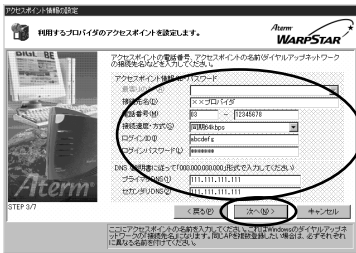
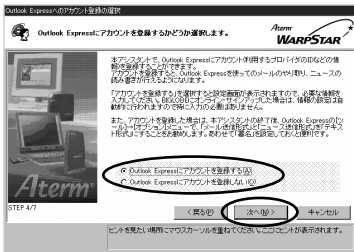
③[ログイン ID］（ユーザ ID）と［ログインパスワード］を入力します。

2
インターネットをしましょう

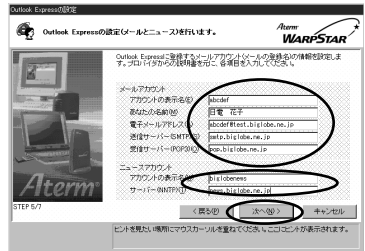
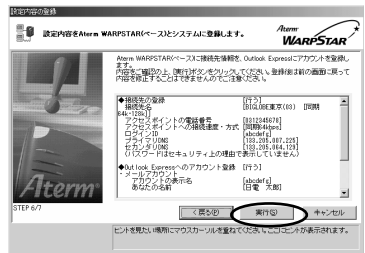
（次ページに続く）

●他のプロバイダの場合

①[接続先名]にプロバイダの名称を、[電話番号]にアクセスポイントの番号を入力します。

②[接続速度・方式]は通常、[同期64kbps]を選択します。
非同期のアクセスポイントは設定できません。

③[ログインID](ユーザID)と[ログインパスワード][プライマリDNS][セカンダリDNS]を半角英数字で入力します。

8 Outlook Expressを使用する場合は、[Outlook Expressにアカウントを登録する]をクリックし、[次へ]をクリックする

Outlook Expressの設定をここでしない場合は、[Outlook Expressにアカウントを登録しない]をクリックし、手順10に進みます。

● Outlook Expressについては、パソコンの取扱説明書を参照してください。

9 メールアカウントとニュースアカウントの情報を入力し、[次へ]をクリックする

10 設定内容を確認し、[実行]をクリックする

ダイヤルアップマネージャの設定が自動的に行われます。

11 ［設定終了］をクリックする

らくらくアシスタントのメニュー画面に戻ります。

12 らくらくアシスタントを終了するときは、［アシスタント終了］をクリックする

お知らせ

●アクセスポイントや目的に合わせて、手順 7 の［接続速度・方式］を選択します。
詳細は、添付 CD-ROM「データ通信ガイド」「1-1　LAN のデータ通信機能」を参照してください。

アクセスポイント	ISDN 回線 64kbps（同期）	ISDN 回線 128kbps（同期）
目的	64kbps 同期通信 マルチアクセス	128kbps マルチリンク PPP 通信
接続速度・方式	同期 64kbps	同期 128kbps

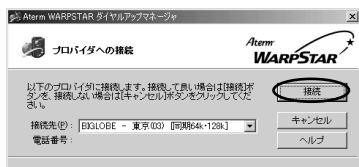
インターネットに接続する

お願い

● LAN に接続しているパソコンからインターネット接続しているときに、WARPSTAR ベースのシリアルポートからインターネット接続すると、LAN に接続しているパソコンからのインターネット接続が切断される場合があります。
この場合は再度ダイヤルアップマネージャで接続しなおしてください。

1 タスクトレイのダイヤルアップマネージャアイコンを右クリックする

2 メニューから［接続］をクリックする

3 ［接続］をクリックする

インターネット接続が開始されます。

4 WWW ブラウザや電子メールソフトなどのアプリケーションを起動する

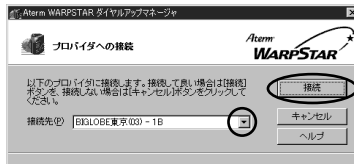
接続中は、インターネットアプリケーションを利用することができます。
Aterm には、インターネットアプリケーションは添付していません。Windows® に付属のものをご利用になるか、別途ご用意ください。

5 終了するときは、タスクトレイのダイヤルアップマネージャアイコンを右クリックする

6 ［切断］をクリックする

? 複数の接続を設定しているときは

ダイヤルアップマネージャに複数の接続を設定しているときは、以下の操作で使用する接続を選択することができます。

①タスクトレイのダイヤルアップマネージャを右クリックする

②［接続］をクリックする

③［接続先］の ▼ をクリックして使用する接続先をクリックする

④［接続］をクリックする

お願い

●タスクトレイのダイヤルアップマネージャのアイコンが下記の状態の間は、接続したままの状態が続いており、通信料金がかかります。（WWW ブラウザなどのアプリケーションを終了しても自動的に切断されません。）インターネットを使用していないときは、[切断] をクリックして忘れずに切断してください。

●パソコンのストールなどにより、パソコンから回線を切断できないことがあります。インターネットを終了して切断操作をしたあとは、接続している TA のランプ等（WARPSTAR ベースの場合は Line ランプの消灯）で回線が切断されたことを確認してください。
接続されたまま放置すると通信費用がかかります。このようなときは、WARPSTAR ベースや接続している TA の電源を切って 10 秒以上おいてから再び電源を入れて、回線を強制的に切断してください。
電源を切ると、すべての通信が切断されます。他の機器が通信中（通話中）でないことを確認してから電源を切ってください。なお、電源を切ると累積料金や着信履歴のデータは消えますので、ご注意ください。
●接続先のプロバイダやサーバ、接続時間帯、データ転送の特徴などにより、接続回線速度のパフォーマンスが十分得られないことがあります。また、ファイルのアップロードを行うとき、ご利用の通信アプリケーションによってはフロー制御が使用できないなどの理由から、通信パフォーマンスが十分得られないことがあります。
● USB ポートにパソコンを接続して通信アプリケーションを実行中に、USB ケーブルを抜いたり電源を切ったりすると、通信アプリケーションと USB ドライバとの結合をシステムが解放します。引き続き通信アプリケーションをご利用になる場合は、通信アプリケーションをいったん終了して、再度実行してください。

3 付録

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Windows® 2000 は、Microsoft® Windows® 2000 operating system の略です。

3-1 製品仕様

WARPSTAR サテライト（WL11U ／ WL11C）仕様

■ 仕様一覧

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>WL11U 諸元</th><th>WL11C 諸元</th><th>備　考</th></tr>
<tr><td colspan="2">端末インタフェース</td><td>USB</td><td>PC カード TYPE II</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">無線 LAN
インタフェース</td><td>規格</td><td colspan="2">IEEE802.11b
RCR STD-33、ARIB STD-T66</td><td>無線 LAN 標準プロトコル
小電力データ通信システム規格</td></tr>
<tr><td>周波数帯域／チャネル</td><td colspan="2">2.4GHz 帯（2400 ～ 2497MHz）／ch1 ～ ch14</td><td></td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td colspan="2">DS-SS 方式（スペクトラム直接拡散方式）</td><td></td></tr>
<tr><td>伝送速度（※ 1）（Mbps）</td><td colspan="2">11.0/5.5/2.0/1.0</td><td>自動フォールバック</td></tr>
<tr><td>伝送距離</td><td colspan="2">屋外： 50m（11Mbps）～ 115m（1Mbps）
屋内： 25m（11Mbps）～ 50m（1Mbps）</td><td>環境により変動</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="2">ダイバーシティアンテナ（内蔵）</td><td></td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="2">ESSID、WEP</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒューマンインタフェース</td><td colspan="2">状態表示 LED × 2</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">利用可能端末</td><td colspan="2">PC98-NX、PC-AT 互換機</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">利用可能 OS</td><td colspan="2">Windows® 98 日本語版
Windows® 98 Second Edition 日本語版
Windows® Millennium edition 日本語版
Windows® 2000 Professional 日本語版</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td>DC5V × 500mA</td><td>DC5V × 300mA</td><td>パソコンから給電</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td>約 2.5W（最大）</td><td>約 1.5W（最大）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（mm）（W × H × D）</td><td>約 63×146 × 88</td><td>約 54 × 9 ×119</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">重量</td><td>約 0.18kg</td><td>約 0.06kg</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">動作環境</td><td colspan="2">温度 0 ～ 40 ℃　湿度 10 ～ 90 ％</td><td>結露しないこと</td></tr>
</table>

※ 1　規格による速度を示すものであり、実効速度は異なります。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

● ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本装置の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電等の外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）Aterm は、災害時においてライフラインと直結した通信手段の確保を意図した設計がされていますが、せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されています。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの ⚠ 必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

この取扱説明書は、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

日本電気株式会社

ND-22689（J）
第１版
2000年11月